



平成23年10月12日

各 位

東京都港区港南二丁目16番1号  
大東建託株式会社  
代表取締役社長 三鍋 伊佐雄  
(東証・名証第1部 コード番号1878)

当社連結子会社（ハウスコム株式会社）の  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるハウスコム株式会社が、平成23年6月23日に公表いたしました業績予想について、第2四半期累計期間の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。  
なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微であります。

〔添付〕

ハウスコム株式会社の開示資料

以上

この件に関するお問い合わせ先  
大東建託（株）経営企画室  
川合、高橋  
03（6718）9068



平成 23 年 10 月 12 日

各 位

ハウコム株式会社  
代表取締役社長 多田 春彦  
(JASDAQ コード番号 : 3275)  
問合せ先  
常務取締役 業務統括部長 落合 巧  
電 話 03-6717-6939

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 6 月 23 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 24 年 3 月期 業績予想の修正について

(1) 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,502	△64	△103	△91	円 銭 △29.50
今回修正予想 (B)	3,621	80	62	13	3.87
増減額 (B-A)	119	144	165	104	
増減率 (%)	3.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

#### (2) 修正理由

第 2 四半期累計期間における国内経済は、3 月に発生した東日本大震災の影響が強く残るもののサプライチェーンの急回復や、電力供給問題の解消を背景に消費者マインドの回復がみられました。当社におきましては、繁忙期である 3 月の転居需要が震災の影響から一部 4 月以降にずれ込んだことや消費者マインドの急回復があったことから営業収益が 119 百万円前回の公表値を上回る見込みとなりました。また、営業利益につきましては上記の営業収益の増加理由に加え、震災の影響を考慮した施策として、店舗における人員の最適化を実施したことなどからコストの削減・効率化につなげることができ 25 百万円の改善が見込まれ、さらに、経常利益に関しましては、主に第 2 四半期累計期間中に計画しておりました I R 関連費用を第 3 四半期以降での消化に変更したことなどから 21 百万の改善となる見込みとなりました。四半期純利益につきましては、利益の改善による納税額



の増加の影響により104百万円の改善見込みとなりました。それらの理由により、平成23年6月23日の公表値を上表のとおり修正いたします。

通期の業績予想につきましては、今後も日本経済は回復基調を継続すると見ておりますが、その一方で復興需要の一過感による景気の減速や、海外経済による下振れ、円高の進行などのリスクを国内経済は抱えており不透明な状況にあります。さらに、当社の主幹事業である不動産賃貸仲介事業は、季節的変動性が高く、進学や転勤が重なり転居が増加する1月から3月に入居需要が集中する傾向にあり、その時点の国内景気の影響を受けることもあることから、平成23年6月23日に公表しました通期業績予想につきまして慎重を期し期初予想を据え置いております。今後の業績動向等を踏まえ修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上